

河津町都市計画マスタープラン

【概要版】



平成25年12月
河津町

都市計画マスタープランについて

都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランとは、町の都市計画、まちづくりに関する最も基本的な計画となるもので、町の目指すべき将来像や土地利用、道路、公園などの分野ごとの基本的な指針を示すものです。

都市計画マスタープランの策定後は、計画に基づいて町の都市計画やまちづくりを進めていくこととなります。

目的

河津町において目指すべき都市の将来像として、土地利用や都市施設のあり方などに関する基本方針を定め、より詳細かつ具体的なまちづくりの方向性を示すことを目的としています。

都市計画マスタープランの目標年次

平成22年(国勢調査)を基準年として、**概ね20年後の平成42年を目標年次**とします。(なお、将来の社会経済情勢の変化や上位計画の見直しなどに応じて、適切な検討を加え、見直しを行うものとします)

全体構想

「全体構想」では、河津町の都市計画区域全体を対象として、長期的な展望に立ったまちづくりの目標や、都市整備の各分野における基本的な方針を示します。

●まちづくりの基本的な考え方

まちの魅力やこれまで培ってきたまちづくりを活かす

町民及び観光客の安全性や快適性、利便性を高める

様々な交流・連携を育み、活発化する

町民や企業等と行政との協働によるまちづくりを継続する

●目標とするまちの姿

**多彩なふるさとの魅力・表情が楽しめ、
みんなが笑顔になる心癒されるまち 河津**

●まちづくりの基本目標

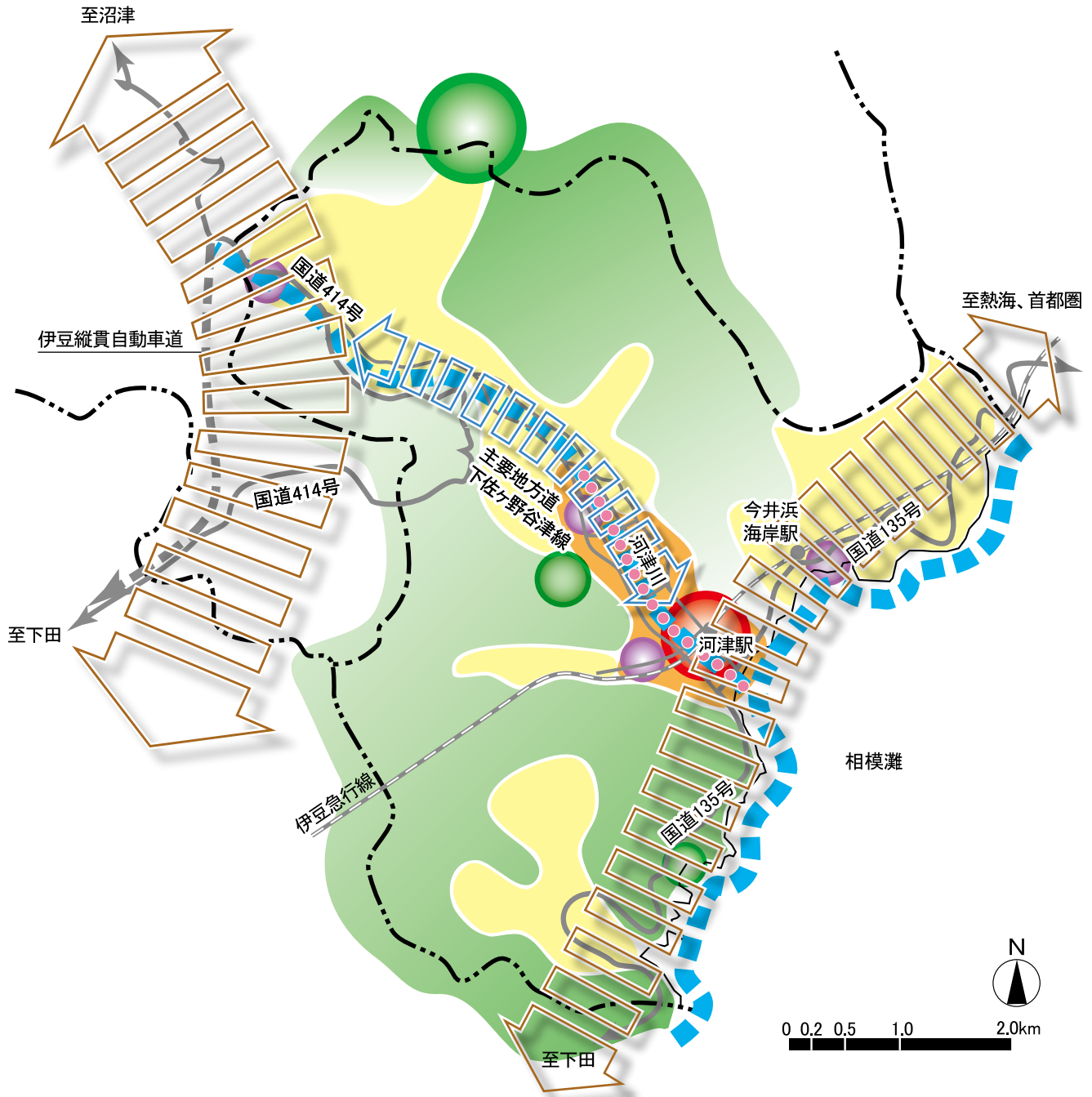
町の魅力・個性が
光り輝くまちづくり

住んでも、訪れても、
安全で快適なまち
づくり

さまざまな出合いや
交流が展開される
活力のあるまちづくり

将来のまちの構造図

地理条件や自然条件、まちの特性、現状のまちの構造等を踏まえながら、これからのまちづくりを展開していく上で目標とする将来のまちの構造を設定します。



凡例

【土地利用ゾーン】

- やすらぎの森ゾーン
- ふるさとの居住環境ゾーン
- まちなかゾーン

【拠点】

- まちなか交流拠点
- 自然ふれあい交流拠点
- 湯の里交流拠点

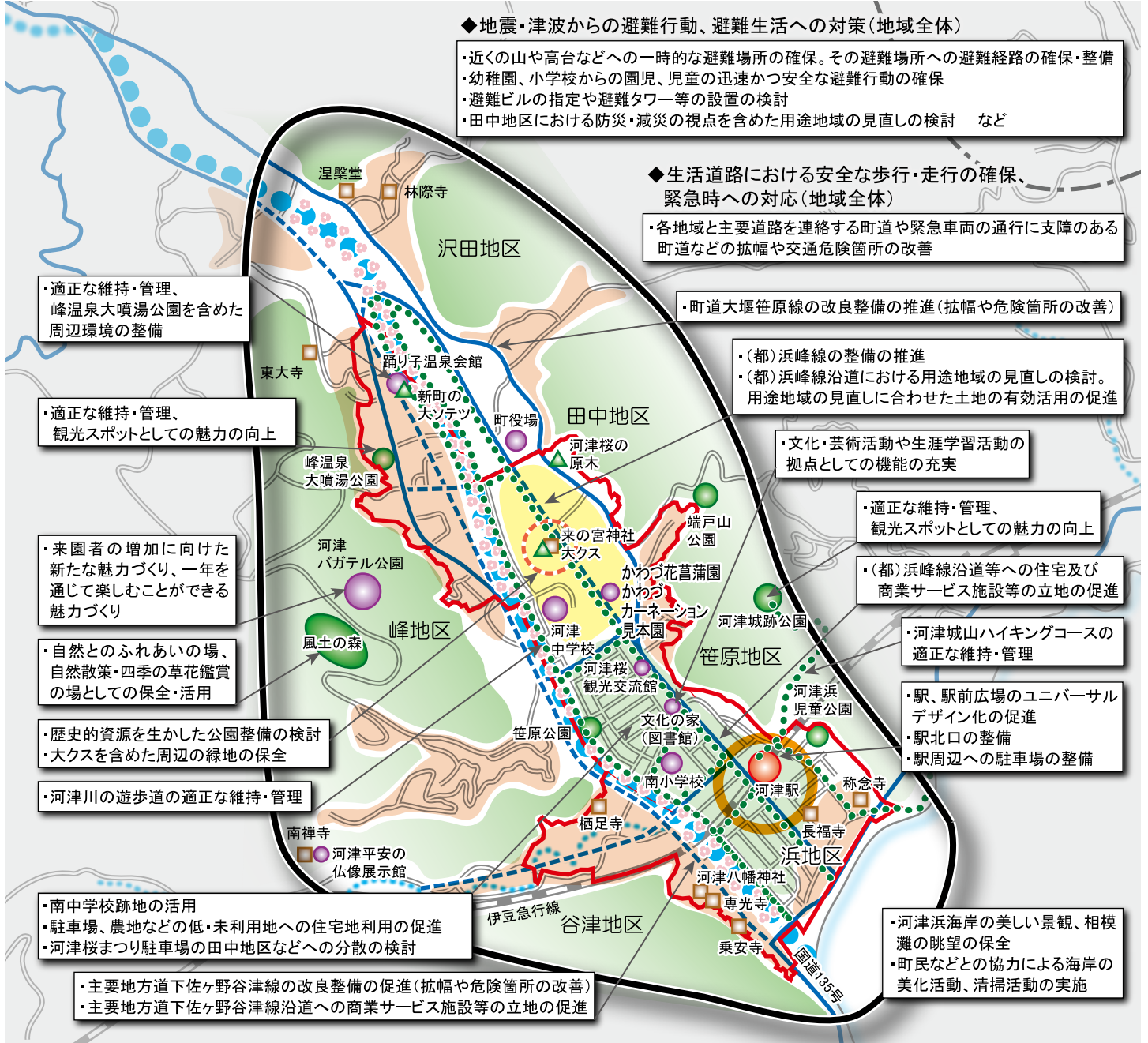
【軸】

- 都市連携交流軸
- 地域連携交流軸
- 河津桜ふれあい軸
- 水辺交流軸

まちなか地域 (浜地区、笹原地区、田中地区、沢田地区、峰地区、谷津地区)

地域づくりの目標

魅力ある地域資源を生かしながら、まちの中心としてののにぎわい・交流を育む地域



地域づくりの方針

凡例		河津駅周辺におけるにぎわいや魅力の回復(新たな商業サービス施設等の立地の促進 など)		整備された公園の充実
		土地区画整理事業施行区域内における適正な土地利用の形成(低未利用地への住宅地利用の促進 など)		貴重な樹木の保全・活用(憩いの場、観光交流の場としての活用 など)
		田中地区における計画的な土地利用の誘導(地区計画制度の活用等による計画的な土地利用の誘導 など)		まちなかを取り囲む良好な自然景観の保全(森林の適切な維持・管理 など)
		既存の温泉地や住宅地における快適な環境づくり(幅員の狭い生活道路などの生活基盤の整備・改善 など)		適切な保護・管理による河津川と河津桜が一体となった景観の保全(河津川堤防の外側などへの計画的な植栽)
		まちの骨格となる主要な道路の計画的な整備・改善(都市計画道路の未整備区間における計画の見直しの検討 など)		歴史・文化資源の保全・活用
		公共施設や観光施設等を結ぶ歩行者ネットワークの形成		主な公共施設、観光レクリエーション施設
		交通結節点となる河津駅の利便性の向上		用途地域界